

No.8	<h1>CTF通信</h1>	集う・遊ぶ 学ぶ・働く
2003年11月		発行:CTF松阪

「ITで支えるやさしい社会」～「ともに活かせるIT」を目指して～

10月12日(日)13時30分から、三重県松阪庁舎6階大会議室で、松阪地方県民局保健福祉部様とCTF松阪とが協働で、障害者のIT・コミュニケーション講演会を開催しました。

講師として、社会福祉法人AJU自立の家わだちコンピュータハウス(名古屋市昭和区)の森崎康宣氏、水口和志氏をお招きして、標記の演題でご講演をいただきました。

視覚障害当事者の見地からの水口氏のご講演要旨をまとめました。

視覚障害者の日常生活における問題

歩行、食事、排泄、入浴、洗濯・・・等、日常生活においてさまざまな問題があるが、これらは全て「情報が獲得できない」ことに由来する。つまり、判断材料がないので行動に移せない、ということ。

日常生活の問題への対処法

主なものとして、人を介して情報を得る「人的支援」(ガイドヘルパー、ホームヘルパー等)と、機器類を利用して情報を得る「機械的支援」(音声時計、色センサー、パソコン、携帯電話等)がある。

情報の問題点

- ◇必要な情報を迅速に取り出すことが困難
- ◇画像、グラフィックスなど伝達不能な情報
- ◇あいまいな情報、まぎらわしい記号・サイン提示
- ◇高額、操作が難解、汎用性がない

情報提供の課題

皆が共有できる情報提供のあり方は、ユニバーサルデザインの7つの原則があてはまる。この原則は、「物」にあてはまるだけでなく「情報」にも共通して言える。

また、全ての情報を一律に提供するのではなく、重要度により分類提供するのがよい。

情報は、必要なときに必要とする人が即座に取り出せることを考えなければならない。

発信する側は、この情報は誰が何のために使うのかをまず考え、それに見合った最適の手段を考えておく必要があり、使う側は、その中から正確に情報を得て自分の目的を達成することが望ましい。

さまざまな、より良い、便利な情報の取り出し口が、今後ますます増えていくことを念願する。



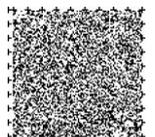
CTF松阪NPO法人化の動き



写真は、設立総会の様子

10月12日 NPO法人CTF松阪設立総会開催
三重県松阪庁舎6階62会議室にて
出席者数：15名

10月17日 NPO法人CTF松阪設立認証申請書提出
三重県生活部NPOチームへ持参
平成16年1月中旬認証見込み



障害者のIT・コミュニケーション講演会 スナップ

開催日時：平成15年10月12日（日）13時30分から16時30分まで

開催場所：三重県松阪庁舎6階大会議室（松阪市高町138）



松阪地方県民局佐甲保健福祉部長様のごあいさつ

現今の情報化社会では、障害者、健常者にかかわらず、この豊かな情報をどのように活用していくかを学んでいく必要がある。

今日は、講師の先生方から、『ともに活かせるITを目指して』という演題で、情報に関する重要なことを、いろいろ教えていただけると期待している。



講演：ITで支えるやさしい社会
～ともに活かせるITを目指して～

講師：社会福祉法人AJU自立の家

森崎康宣 先生（向かって右）と
水口和志 先生



オープニングには、希望の園の皆さんがバンド演奏をして、盛り上げていただきました

（このロックバンドは、バンド名をハッシュダイと言って、シンセサイザー、ベース、キーボード、ギター、・・・と本格的なもので、ノリノリの演奏を聞かせてくれました。今後ますますの活躍をお祈りします）



約120名の方が参加してくださいました

多数のご参加、誠にありがとうございました

展示およびデモンストレーションコーナーでは、障害に応じたIT機器の展示と実演、説明が行われました

出展くださいました各メーカー様、ありがとうございました

主な出展機器

携帯用会話補助装置 レッツチャット ファンコム（株）様

携帯用会話補助装置 ハートチャット 国際電業（株）様

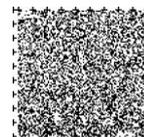
視覚障害者音声ソフト ドキュメントトーカモバイル

（株）ボイスリンク様

視覚障害者用パソコン及びソフト一式 （株）高知システム開発様



このコーナーでは、各メーカーの担当者の方に熱心に質問をされる参加者の姿が目立ちました



第8回役員会開催

10月18日（土）松阪市福祉会館（松阪市殿町）において、第8回役員会議を開催しました。

会員5名（うち役員4名）が出席し、CD版バリアフリーマップ作成についての検討、ならびに諸情報の交換をしました。



10月に実施した事業

第8回役員会議

(18日)

CTF松阪NPO法人化関連

設立総会開催

(12日)

設立認証申請

(17日)

ユニバーサルデザインリーディング事業

IT・コミュニケーション講演会（第4回研究会）

(12日)

聴覚障害者向けIT講座

(10日)

障害者対象個人向けパソコン講座

(7日、14日、21日)

ワーク会員研修（HP作成講座）

(7日、14日、21日、28日)

継続実施中

☆バリアフリーマップ作成

☆障害者のIT導入マニュアル作成

☆障害者IT相談窓口設置

☆全国保健所長会ホームページ編集

11月の予定

第9回役員会議

8日 13:30~16:30

松阪市障害者福祉センターにて

第5回IT・コミュニケーション研究会

18日 13:30~16:00

三重県松阪庁舎にて

聴覚障害者向けIT講座

14日、28日 各18:30~20:30

松阪市中央公民館にて

障害者対象個人向けパソコン講座

11日、18日、25日

各9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて

ワーク会員研修（ホームページ作成）

4日、11日、18日、25日

各9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて



ショートカットキー操作 その3

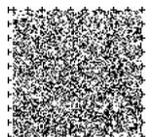
今月は、紙面の関係で「範囲指定」のショートカットだけをご紹介します。

ワードやエクセルでも使ってみてください。

(岡野 宏)

やりたいこと	マウスでの操作	ショートカットキー操作
範囲を指定する	指定したい範囲の先頭位置から最後の位置までをドラッグする	指定したい範囲の先頭位置をクリックした後、【Shift】キーを押しながら【→】【↓】【←】【↑】キーで最後の位置までカーソルを移動する

(次号につづく)





今月は、現役バリバリでお勤めの傍ら、早くからCTF会員としてご活躍の、そして、絶妙のウィットとユーモアに富む発言が楽しい春多 常様からのご寄稿です。

プチ・チャレンジド入門

春 多 常

頃は平成十五年七月二日暮れ六つ過ぎ、ところは一志町テニスコート上 ネットに向かって颯爽と構える勇姿あり。(想像されたし・・・)

迫り来るボールにいざ立向かわんとするその刹那、左足脛脛下方に「バシッ」と音の発する感覚あり・・・(S病院:『骨は折れてませんでシップして様子見ましょう』・・・ 藪)

(翌日 N整形外科:『左アキレス腱不全断裂です ギブスで固定しましょう 後日MRIとります』・・・金儲け) 凶らずも プチ・チャレンジド入門となる。

松葉杖(親父が使っていた木製の古物)での歩行・・・脇が痛いし腕疲れるし・・・。

AT車なので右足1本と両の腕で運転は出来た 前号で西山氏が「車椅子駐車場」の不適切な利用者についての意見を言っておられるが(それ以前の出来事です)この際、障害者用駐車場を使ってみようとしてF1マートの「車椅子駐車場」に駐車 おもむろに松葉杖を取り出し宝くじ売り場へ(貴重な経験)・・・で結果は「た」ぬきでした。



ときどき散歩をしますが松阪市内はとてもバリアフルだと感じます。歩道は狭くなったり電柱や標識のポールが大きな顔で歩道に立っています。道は坂があってもしかたないですが歩道が左右に大きく傾いているのは許せません、排水や車の出入についても工夫次第で解決できると思います

CTFで多くの人と出会いましたが「チャレンジド」は進化する人たちであると感じています。感性や洞察力そして素晴らしい能力の持ち主ばかりです。CTFが進化を加速するエネルギーとなることを期待しています

最後に私の左足は進化を遂げることもなく以前の駄足にはぼ戻っている事を申し添えます。

次号はパワーウーマン小林 明美嬢にお願いします

CTF通信 第8号

2003年(平成15年)11月発行
 発行者 ITを活用した障害者支援組織
 (Challenged To the Future)

CTF松阪

発行責任者 川口保美

住所 〒515-0081

松阪市本町2181-1

電話 0598-21-7268

URL <http://www.geocities.jp/sanguudo/ctf/>



晴山

